

エネルギー安全保障とは

2025.07.10

一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会
代表理事 増山 寿一

エネルギーにおける S + 3 E

安定供給

Energy security

2040年度にエネルギー自給率3～4割程度を見込む（2022年度12.6%）

経済効率性

Economic Efficiency

国際的に遜色ない価格

環境適合

Environment

世界全体での1.5℃目標と整合的で、野心的な削減目標（2013年度比）である2035年度▲60%、2040年度▲73%を目指す

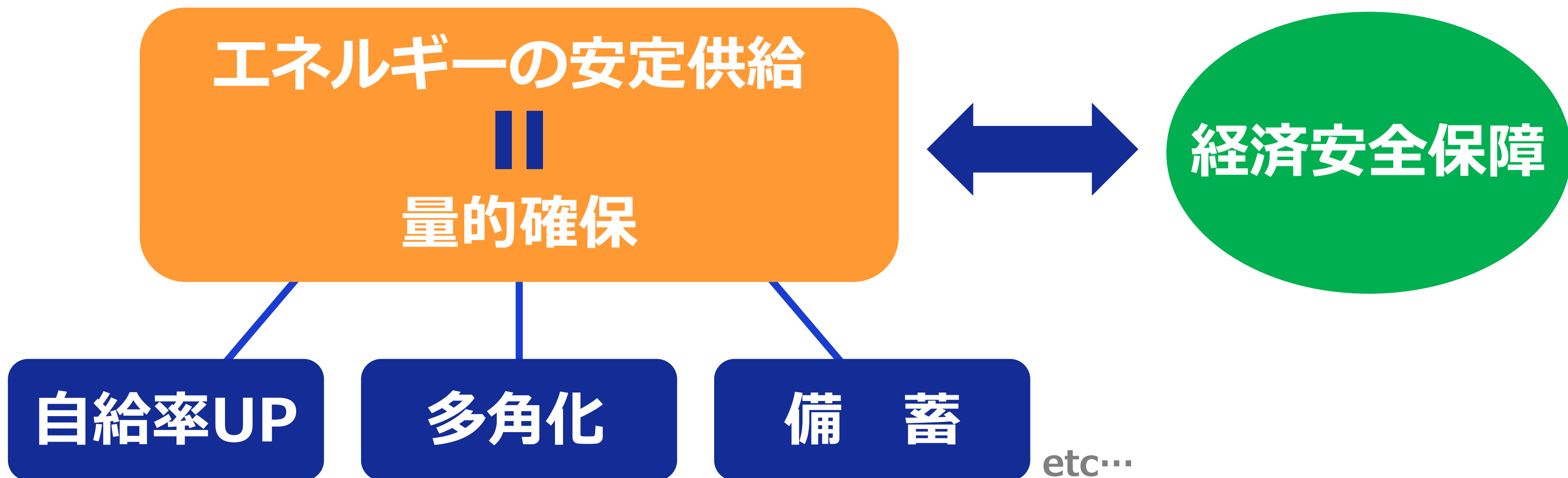


エネルギーの安全性 Safety

安全性の確保が大前提

S + 3 Eの大原則

「石油の一滴は、血の一滴」からの、 エネルギー安定供給を求め続けてきた歴史



**近年、“産業の安全保障”が重視される中、
過度の国産化が主張される傾向にある。**

- エネルギーとITとの融合
- エネルギー関連新技術の囲い込み
- 西側連合の協業（米国の動向、EVの動向）など

エネルギー政策と環境政策は常に同方向か？

- 環境政策は、グローバルな課題

真の安全保障とは、何か？

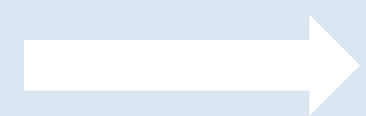
デュアル化（二重化、三重化、それ以上）

- 地理的要素の重要性

多様性への柔軟な対応

- 例：ボーイング vs エアバス、
ロシア産LNG vs 米国、豪州 vs 中東 vs アラスカ？

「再生可能エネルギー第一主義」から



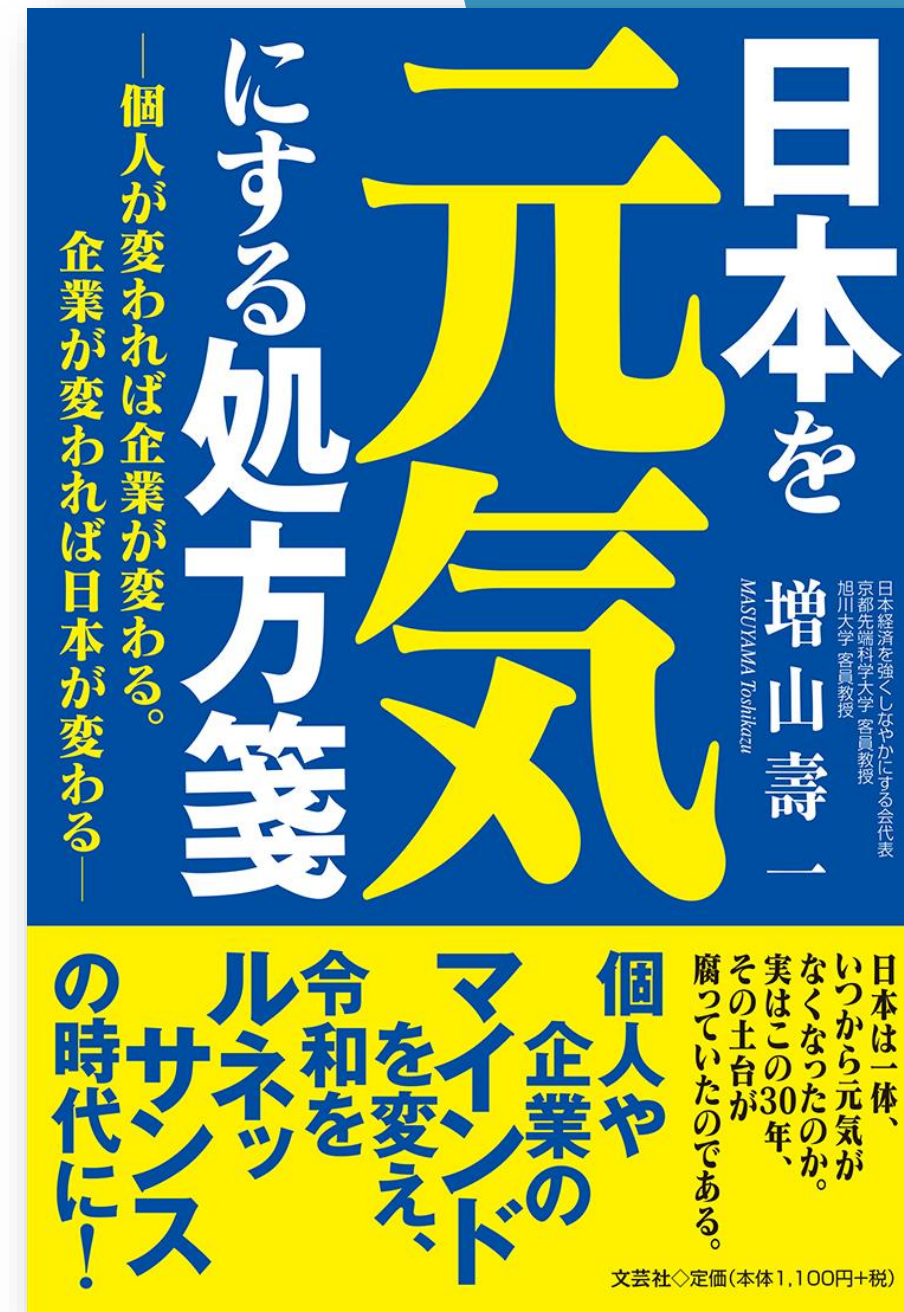
目的に応じたエネルギーの多様化」へ

- 発電 / 送電 / 蓄電 / 用电 での革新

エネルギー政策の 「コージエネ化」の重要性



産経新聞出版



文芸社

Profile



増山 寿一 (ますやま としかず)

一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会 代表理事
Office de MASUYAMA 代表

東京大学法学部卒業後、通商産業省入省（現経済産業省）
欧州・ロシア・中東アフリカ課長、資源エネルギー庁・省エネルギー・新エネルギー政策課長、
JOGMEC（現独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構）総務部長、外務省在フランス日本国大使館参事官などの
ポストを経て、北海道経済産業局長、環境省特別参与などを歴任。

現在は、政策・再生エネルギーコンサルタントとして、IT、エネルギー関係企業及び、
上場を目指すベンチャー企業などへの経営指導をするほか、地方創生・地域振興の事業促進を手掛ける。
京都先端科学大学 特任教授、旭川市立大学 客員教授、星槎大学・星槎道都大学 特任教授など、
大学での教育活動を通じて、世界で活躍できる若人を育成。

著書：『日本を元気にする処方箋』（文芸社）、『AI(愛)ある自頭を持つ！』（産経新聞出版）